

CMC 空間におけるコミュニティの実在性と公共性

福島 泉

1. 研究課題と先行研究の整理

1.1 研究課題

本研究では、CMC 空間におけるコミュニティの実在性と公共性の位置づけと、それぞれを構築するために必要な条件を提示することを課題とした。

1.2 CMC と CMC 空間のコミュニティ

CMC とは、電子メールや電子掲示板など、<コンピュータを媒介したコミュニケーション(Computer-Mediated-Communication)>を総称する言葉である。CMC 空間のコミュニティとは、電子掲示板やチャットルームなどの一種のコミュニティとしてみなすことが可能な CMC をこのように位置づけ、特に本研究では電子掲示板に着目している。

1.3 公共性認識と実在性認識

*一般的な公共性認識…<国家的公共性>
<共同的公共性><公開的公共性>
⇒現在の公共性認識の中心は<共同的公共性>であるが、今後、<公開的公共性>が重要な位置を占める可能性が大きい。
*一般的な実在性認識…<歴史的実在性>
<常識的実在性><体験的実在性>
⇒CMC での実在性認識はその特性上<体験的実在性>を要求する傾向が大きい。

2. 事例分析と結果

2.1 電子掲示板の書き込み内容分析

具体的事例の分析では、電子掲示板の書き込みを用いて書き込みの中に出現する言葉や文章の質的・量的分析を行った。量的分析に際しては、文書解析を行うソフトウェア「KH Coder Ver.2.alpha.6」を用いて語の抽出とコーディングを行った。

2.2 概念・カテゴリーによる分類

表 コード一覧

分類名	コード名	分類名	コード名
共通話題	共通話題(生活一般)	他者認知	多様性認識
	共通話題(障害)		オープンアクセスの認識
	共通話題(学校関連)		感情表現(全般)
	共通話題(情報技術)		感情表現(+)
周辺環境	周囲の人間関係・環境	同調意識	感情表現(-)
	挨拶語 1		同調意識(内一般)
挨拶	挨拶語 2	相互扶助	相互扶助 1
	挨拶語 3		相互扶助 2
運営	運営語	インターネット用語	インターネット用語

2.3 コード別コーディング結果

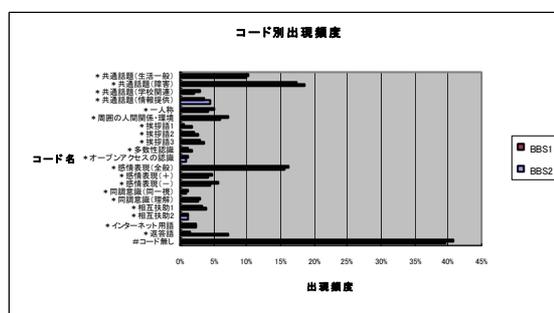


図 コード別出現頻度

3. 考察

3.1 公共性と実在性の条件と位置づけ

事例分析で得られた結果と書き込み内容の分析より、公共性と実在性の条件をそれぞれ以下のように提示した。

*公共性の条件…<公開性・開放性><第三者の存在><ルールやモラルの遵守と実践><コミュニケーション上の基本的責任>
⇒<共通認識の拡充を達成するための手段>としての公共性

*実在性の条件…<体験的実在性><常識的実在性><感覚的実在性>
⇒<人びとが共有する感覚>としての実在性

3.2 CMC 空間におけるコミュニティの可能性

本研究で提示した公共性と実在性は、CMC 空間のコミュニティが成熟したコミュニティとなるための目的である<相互理解>を達成する条件として位置づけることが可能である。